

P25

進行癌(ステージⅣ)に対する低分子水溶性キトサン (畠中キトサン)を用いた統合医療

○恒川 洋¹⁾, 畠中 富生²⁾

1) 恒川消化器クリニック, 2) 畠中製薬株式会社

Patients with intractable and progressive stage IV cancer received integrated medical treatment comprising immunomodulatory therapy combining Low molecule water solubility chitosan (Hatanaka Chitosan) and various regimens in combination with conventional therapy. As a result, activation of immune function including regulation of NK activity and an anti-cancer effect (reduction in tumor markers) were observed. Prolongation of mean survival time and a remarkable improvement in QOL (PS) were also observed. In conclusion, the result that this integrated medical treatment has a life-prolonging effect and maintains good QOL suggests that Hatanaka Chitosan may become a superior BRM that will complement conventional therapy.

【目的】

我々は、癌の標準治療後に再発・転移したり、西洋医学的に治療困難と判定された進行癌患者に対して、標準的な治療に加えてホリスティックな「補完・代替医療」と各種の「養生法」に様々な機能性食品を組み合わせた多彩な「統合医療」を行ってきた。特に、抗癌化学療法には抗癌作用と同時に免疫力の低下作用があるため、免疫活性化を目的とした補完医療を併用することにより副作用の軽減が可能となった。今回は、ステージⅣの進行癌患者に対して免疫活性化作用、有害物質排泄作用など様々な作用がある低分子水溶性キトサン（以下、畠中キトサン）を用いた統合医療の成績について報告する。

【方法】

ステージⅣの各種進行癌患者 17 名に標準治療と並行して漢方服用、ビタミンC大量点滴などに畠中キトサンを加えた免疫活性化療法と食・体・心の養生法を行った。免疫活性化の指標としては全例でNK細胞活性（NK活性）の推移を腫瘍マーカーと共に経時的(6～23ヶ月間)に測定した。また一部の症例でTh1/Th2比も測定した。

【成績及び症例呈示】

経過観察中17名中15名(88%)にNK活性の上昇が、14名(82%)に腫瘍マーカーの低下が認められた。同時に生存期間の延長、PSの改善(88%)などQOLの向上も確認された。症例を呈示する。

【まとめ】

今回、我々が治療困難な進行癌患者に現代西洋医学と並行して行った養生法と畠中キトサンを加えた統合医療には免疫活性化作用と同時に抗癌作用が認められた。さらに延命効果とQOLを良好に保つ点からも畠中キトサンは標準治療を補完する優れたBRMになりうる可能性が示唆された。